



T H E   W A Y   O F   M U T U A L   P R O G R E S S

# 第77期 中間報告書

2009.4.1 ▶ 2009.9.30

 ユシロ化学工業株式会社

証券コード：5013



# 時代とともに、顧客とともに。

「共々の道」という理念をカタチに。

## THE WAY OF MUTUAL PROGRESS

油(ユ)・脂(シ)・蠟(ロ)を主原料とする化学技術と、独自のブレンド技術を駆使し、戦後いち早く復興した繊維産業への経糸糊付用油剤を皮切りに、自動車産業・鉄鋼産業への金属加工油剤やビルメンテナンス業界に向けたケミカル製品など、時代を先取りする製品を開発・供給することで、わが国基幹産業の発展に貢献してきました。

創業者の提唱した企業理念「共々の道」は、お客様とユシロの、地域社会とユシロの、そして社員とその家族とユシロの「共々の道」であり、この理念によって、お客様の深い信頼と温かいご愛顧を頂けたものと信じております。

「共々の道」は半世紀の時空を越えて全社員の中に生き続いており、今後も永遠に受け継いでまいります。

企業理念

「共々の道」

社 是

「独自の風格ある製品」  
「間口よりも奥行きのある研究」  
「進歩は常に需要とともに」

### 第2四半期財務ハイライト(平成22年3月期)

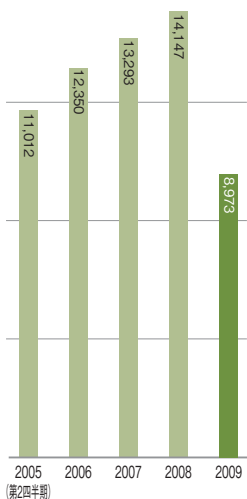
		連結決算	単体決算
売上高	(百万円)	8,973	6,126
営業利益	(百万円)	321	129
経常利益	(百万円)	472	258
四半期純利益	(百万円)	208	197
1株当たり四半期純利益	(円)	16.28	15.39
純資産	(百万円)	18,146	13,777
総資産	(百万円)	28,055	21,244
自己資本比率	(%)	61.2	64.9

(注)本報告書中の財務諸表等の記載の金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 連結業績推移

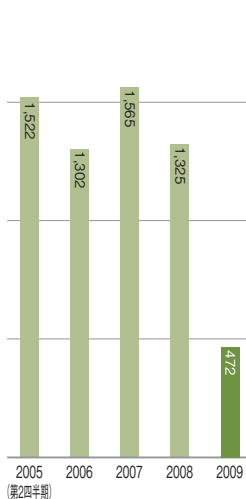
## 売上高

(単位：百万円)



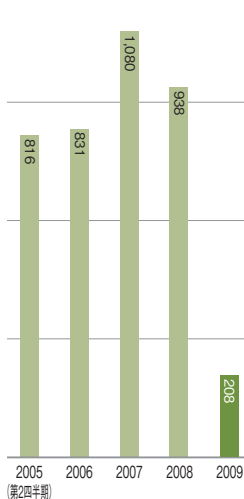
## 経常利益

(単位：百万円)



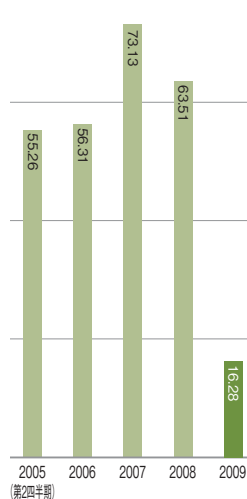
## 四半期純利益

(単位：百万円)



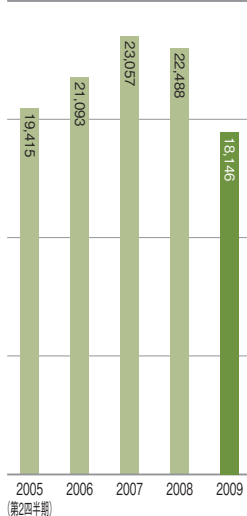
## 1株当たり四半期純利益

(単位：円)



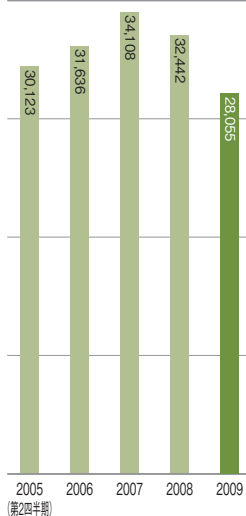
## 純資産

(単位：百万円)



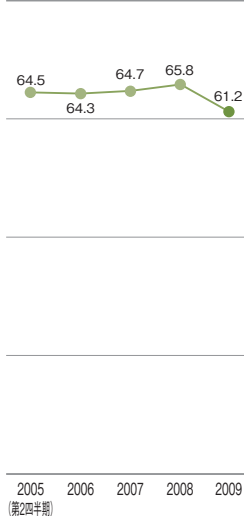
## 総資産

(単位：百万円)



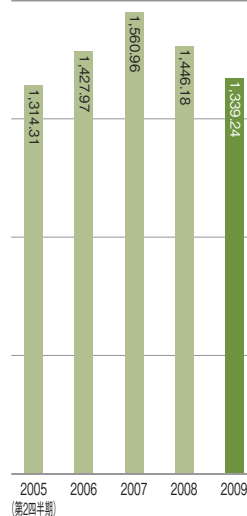
## 自己資本比率

(単位：%)



## 1株当たり純資産

(単位：円)



## 株主の皆様へ



代表取締役社長

長井 禧明

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、当社第77期第2四半期（中間期）の事業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の世界の経済状況は、昨年からは引き続き企業業績の悪化に、底打ちの兆しが見られるものの、依然として景気の低迷が続く厳しい状況にあります。

当社の主要顧客である自動車業界におきましても、国内では、需要が緩やかに回復する傾向はあるものの、依然として自動車生産台数は前年を大きく下回っており、設備投資の中止や抑制が継続されています。海外でも、中国は、景気刺激策の効果により、需要の回復傾向が見られましたが、米国や欧州では景気低迷が続いており、在庫調整を含む減産や設備投資の抑制など、厳しい情勢で推移しました。

このような状況下、売上高は国内及び海外関係会社のいずれも、自動車会社の大幅な生産減の影響を受け、前年同期比36.6%減の8,973百万円となりました。

利益面では、固定費を含む各種経費の削減などに努めましたが、販売数量減少の影響が大きく、営業利益は前年同期比70.2%減の321百万円となりました。経常利益では、前年同期比64.4%減の472百万円となり、四半期純利益は77.8%減の208百万円となりました。

配当金につきましては、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題として認識しております。

中間配当金につきましては、第2四半期決算の結果を踏まえ総合的に勘案し、1株当たり5円とさせていただきます。

なお、期末配当予想につきましては、依然経営環境の先行きが不透明であることから未定とさせていただきます。

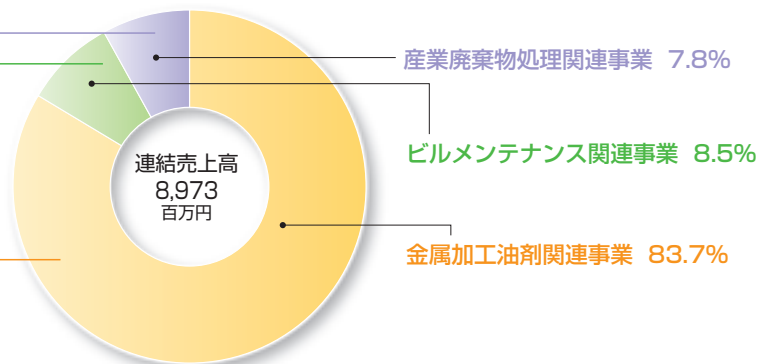
今後の見通しにつきましては、当社の主要顧客である自動車業界は、中国をはじめとしたアジア地区では回復の兆しが見え始めましたが、日本・北米等では引き続き厳しい市場環境が見込まれます。

このような状況に対し、当社グループは、業績向上に向け、全力を尽くして経営に当たる所存です。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年12月

## 事業別の概況 (平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)



### ●金属加工油剤関連事業

金属加工油剤関連の事業環境は、主要顧客である自動車会社の大幅生産減の影響を受け、主力の切削油剤等の製品は、前年同期と比較して大きく落ち込みました。太陽電池用切断油剤も市場の在庫調整の影響を受け、前年同期を下回りました。

その結果、売上高は前年同期比39.2%減の7,511百万円となりました。営業利益は、各種経費の削減に努めましたが、販売量の減少が大きく影響し、前年同期比65.3%減の342百万円となりました。

### ●ビルメンテナンス関連事業

ワックス・洗剤等を含む清掃用ケミカルは、景気悪化の影響によるビルメンテナンス費用削減に伴い、使用量が減少しました。

その結果、売上高は前年同期比10.8%減の763百万円となりました。営業利益は、原価低減効果により前年同期比165.7%増の42百万円となりました。

### ●産業廃棄物処理関連事業

産業廃棄物処理事業におきましては、主要顧客である製造業の廃棄物の減少及び炉のトラブルによる稼働日数の減少が受注に大きく影響し、売上高は前年同期比26.1%減の698百万円となりました。利益面では、経

費削減に努めましたが、受注減の影響が大きく、営業損失は62百万円（前年同期は78百万円の営業利益）となりました。

# 連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 平成21年9月30日現在	前期末 平成21年3月31日現在
●資産の部		
流動資産	12,417	10,905
固定資産	15,638	15,681
有形固定資産	9,940	10,218
無形固定資産	169	149
投資その他の資産	5,527	5,313
資産合計	28,055	26,587
●負債の部		
流動負債	5,850	5,006
固定負債	4,058	4,422
負債合計	9,909	9,428
●純資産の部		
株主資本	20,459	20,315
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	3,994	3,994
利益剰余金	14,795	14,650
自己株式	△2,579	△2,579
評価・換算差額等	△3,300	△4,017
その他有価証券評価差額金	△26	△298
為替換算調整勘定	△3,274	△3,718
少数株主持分	987	860
純資産合計	18,146	17,158
負債及び純資産合計	28,055	26,587

当第2四半期連結会計期間末の資産は、28,055百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,468百万円増加しました。主な要因は、「有形固定資産」が278百万円減少しましたが、「現金及び預金」が1,312百万円、「投資有価証券」が459百万円、「受取手形及び売掛金」が176百万円増加したことによります。

負債は、9,909百万円となり、前連結会計年度末に比べ480百万円増加しました。主な要因は、「長期借入金」が386百万円減少しましたが、「支払手形及び買掛金」が464百万円、「短期借入金」が200百万円増加したことによります。

純資産は、18,146百万円となり、前連結会計年度末に比べ987百万円増加しました。主な要因は、「為替換算調整勘定」が443百万円、「その他有価証券評価差額金」が272百万円変動したことによります。

## 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期
	平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで
売上高	8,973	14,147 ●
売上原価	6,181	10,002
売上総利益	2,792	4,144
販売費及び一般管理費	2,470	3,064
営業利益	321	1,080 ●
営業外収益	223	282
受取利息及び受取配当金	79	82
持分法による投資利益	60	60
その他	83	139
営業外費用	73	37
支払利息	35	24
その他	38	12
経常利益	472	1,325 ●
特別利益	50	172
特別損失	9	2
税金等調整前四半期純利益	513	1,496
法人税、住民税及び事業税	153	476
法人税等調整額	86	△13
少数株主利益	65	95
四半期純利益	208	938 ●

### 売上高

売上高は、主要顧客である自動車業界において生産台数が前年を大きく下回り、前年同期比36.6%減の8,973百万円となりました。

### 営業利益

営業利益は、固定費を含む各種経費の削減に努めましたが、販売数量減少の影響が大きく前年同期比70.2%減の321百万円となりました。

### 経常利益

経常利益は、営業利益の減少が響き前年同期比64.4%減の472百万円となりました。

### 四半期純利益

四半期純利益は、前年同期比77.8%減の208百万円となりました。

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	前第2四半期 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,555	1,156 ●
● 投資活動によるキャッシュ・フロー	△137	△299
財務活動によるキャッシュ・フロー	△293	△869 ●
現金及び現金同等物に係る換算差額	287	△74
現金及び現金同等物の増減額	1,412	△87
現金及び現金同等物の期首残高	4,288	5,262
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,700	5,175

### 営業活動による キャッシュ・フロー

営業活動により、1,555百万円の収入超過となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益513百万円、仕入債務の増加493百万円、減価償却費420百万円等の収入によるものです。

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により、137百万円の支出超過となりました。これは、有形固定資産の売却58百万円等の収入がありました。しかし、有形固定資産の取得118百万円等の支出によるものであります。

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により、293百万円の支出超過となりました。これは、短期借入金の純増200百万円の収入がありましたが、長期借入金の返済386百万円、配当金の支払64百万円等の支出によるものであります。



# 単体財務諸表

## 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末	前 期 末
	平成21年9月30日現在	平成21年3月31日現在
<b>●資産の部</b>		
流動資産	7,456	6,359
固定資産	13,788	13,777
有形固定資産	6,903	7,083
無形固定資産	43	27
投資その他の資産	6,841	6,665
<b>資産合計</b>	<b>21,244</b>	<b>20,136</b>
<b>●負債の部</b>		
流動負債	4,379	3,510
固定負債	3,087	3,254
<b>負債合計</b>	<b>7,467</b>	<b>6,764</b>
<b>●純資産の部</b>		
株主資本	13,804	13,671
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	3,994	3,994
利益剰余金	8,139	8,006
自己株式	△2,579	△2,579
評価・換算差額等	△26	△299
その他有価証券評価差額金	△26	△299
<b>純資産合計</b>	<b>13,777</b>	<b>13,371</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>21,244</b>	<b>20,136</b>

## 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期
	平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで
売上高	6,126	9,760
売上原価	4,225	7,034
<b>売上総利益</b>	<b>1,900</b>	<b>2,726</b>
販売費及び一般管理費	1,770	2,309
<b>営業利益</b>	<b>129</b>	<b>417</b>
営業外収益	182	255
営業外費用	53	22
<b>経常利益</b>	<b>258</b>	<b>651</b>
特別利益	39	30
特別損失	8	1
<b>税引前四半期純利益</b>	<b>289</b>	<b>679</b>
法人税、住民税及び事業税	92	217
<b>四半期純利益</b>	<b>197</b>	<b>462</b>

## 株式の状況

発行可能株式総数 29,180,000株

発行済株式数 15,200,065株

株主数 5,639名  
(前期末比304名減)

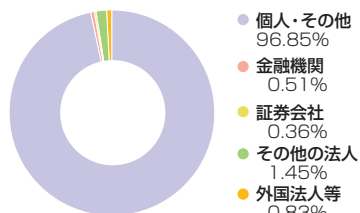
### 大株主

株主名	持株数(百株)	出資比率(%)
日本生命保険相互会社	10,574	8.25
ユシロ化学工業取引先持株会	7,031	5.48
株式会社三井住友銀行	6,226	4.85
スズキ株式会社	5,490	4.28
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,863	3.79
ユシロ化学工業従業員持株会	3,585	2.79
個人株主	3,130	2.44
日本ロイヤル・サービス銀行株式会社(商印)	2,906	2.26
三井住友海上火災保険株式会社	2,860	2.23
長瀬産業株式会社	2,437	1.90

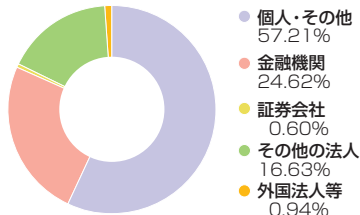
※当社は、自己株式23,874百株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。出資比率は、自己株式(23,874百株)を除いて算出しております。

## 株式の分布状況

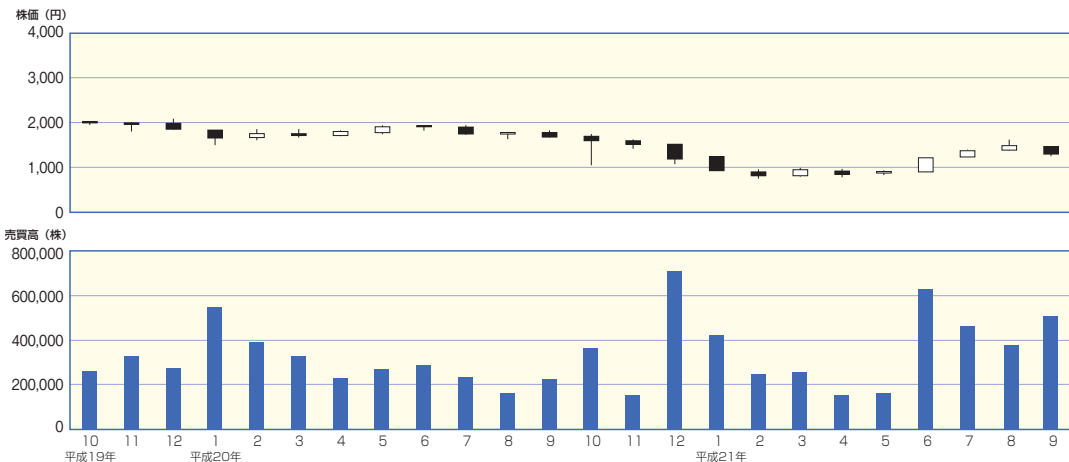
### 株主数比率



### 株式数比率



## 株価チャート



# 会社概要 (平成21年9月30日現在)

## ■ 会社概要

社名	ユシロ化学工業株式会社 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD.
本社所在地	〒146-8510 東京都大田区千鳥2-34-16 TEL(03) 3750-6761 FAX(03) 3750-1146
ホームページ	<a href="http://www.yushiro.co.jp/">http://www.yushiro.co.jp/</a>
設立	1944年(昭和19年)7月24日
資本金	4,249百万円
従業員数	341名(連結761名)
当社グループの 事業セグメントと主な製品等	金属加工油剤関連事業 切削油剤、研削油剤、塑性加工油剤、表面処理剤、 アルミ離型剤、新素材加工油剤、その他関連製品 ビルメンテナンス関連事業 樹脂ワックス、洗剤、フロアメンテナンス用機器 類、その他関連製品 産業廃棄物処理関連事業 産業廃棄物処理及び関連する役務サービス

## ■ 連結子会社

エヌエス・ユシロ株式会社
ユシロ運送株式会社
ユシロマニュファクチャリングアメリカ株式会社【米国】
ユシロドブラジルインダストリアケミカ有限公司【ブラジル】
ユシロ(タイランド)株式会社【タイ】
啓東尤希路化学工業有限公司【中国】
上海尤希路化学工業有限公司【中国】
ユシロジェットケミカルズ株式会社【マレーシア】
広州尤希路油剤有限公司【中国】
ユシロ(インド)株式会社【インド】

## ■ 持分法適用関連会社

汎宇化学工業株式会社【韓国】
株式会社汎宇【韓国】
三宜油化股份有限公司【台湾】

## ■ 役員

代表取締役社長	長井 禎明
代表取締役常務	広部 雅久
取締役	並木 幸直
取締役	松野龍一郎
取締役	岸 裕次
取締役	岡本 晴夫
取締役	百束 立春
取締役	阪口 善裕
取締役	大胡 栄一
常勤監査役	千葉 保雄
常勤監査役*	恩田 統夫
常勤監査役*	中村 順昭
監査役*	野末 昭孝

(注) ※は社外監査役です

## ■ 事業所

テクニカルセンター	神奈川県高座郡寒川町田端 1580
富士工場	静岡県駿東郡小山町湯船字湯船原 1157-2
兵庫工場	兵庫県神崎郡福崎町西治字拝尾 817-1
東京支店	東京都大田区千鳥 2-34-16
名古屋支店	愛知県名古屋市長区鳴海町杜若 100
大阪支店	大阪府枚方市池之宮 3-5-1
北海道営業所*	北海道苫小牧市表町 5-4-7 苫小牧第一生命ビルディング3階
東北営業所	宮城県仙台市宮城野区宮城野 1-26-20
北関東営業所	栃木県小山市大字横倉新田 470-5
北陸営業所	石川県金沢市森戸 1-158
浜松営業所	静岡県浜松市中区高丘西 1-3-24
福山営業所	広島県福山市大門町野々浜向山 270-1
広島営業所	広島県広島市南区段原 2-14-11 田中ビル
九州営業所	福岡県福岡市博多区東比恵 3-11-2

(注) ※北海道営業所は、本年11月に札幌市から移転しております。

# 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月  
定時株主総会の基準日 3月31日  
期末配当の基準日 3月31日  
中間配当の基準日 9月30日  
証券コード 5013  
単元株式数 100株  
公告方法 電子公告とし、当社ホームページ (<http://www.yushiro.co.jp/>) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人及び  
特別口座の口座管理機関  
株主名簿管理人事務取扱場所  
株式会社 だいこう証券ビジネス  
〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町14番9号  
株式会社 だいこう証券ビジネス 東京支社  
(郵便物送付先) 〒541-8583 大阪市中央区北浜2丁目4番6号  
株式会社 だいこう証券ビジネス 証券代行事務センター  
(連絡先) ☎0120-255-100 (無料)  
ホームページ<http://www.daiko-sb.co.jp/>



## 【株式に関するお手続き】

1. 株券電子化に伴い、株主様からの各種お申し出・お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関にご相談ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する、各種お申し出・お手続きにつきましては、上記特別口座管理機関にご相談ください。
3. 未受領の配当金につきましては、株式会社だいこう証券ビジネスにてお取扱いいたします。